

令和8年
2026年

1月8日
木曜日

第11866号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



包装関係10団体が合同新年会を開催……P6~7

- ▶ 11月の牛肉輸出は前年比23・8%増、最大輸出先は米国……………P2
- ▶ [畜産物卸売価格・12月] 和牛去勢A4価格は前年同期比42円高……………P2
- ▶ [加工品仕向肉量・11月] 国産、輸入の合計数量は3万6742tで5・3%減……………P3
- ▶ 1~11月の輸出額、牛肉は累計627億6800万円で前年同期比15%増—農水省……………P3
- ▶ 11月の豚肉輸出は前年同月比で85・5%増、輸出額も増……………P4
- ▶ [組織変更・人事異動] マルイチ産商(2月1日付、4月1日付)……………P4~5
- ▶ マルイチ産商が完全子会社の丸水長野県水を吸収合併……………P5
- ▶ [鶏肉調製品輸入11月] 計4万7298tで2・4%増……………P6

注目のヘッドライン

11月の牛肉輸出は前年比23・8%増、最大輸出先は米国

財務省貿易統計によると11月の国産牛肉輸出量は1152t(前年同月比23・8%増)と、前年同月を上回り、前月比でも12・1%増加した。

…詳細はP2

[畜産物卸売価格・12月] 和牛去勢A4価格は前年同期比42円高

…詳細はP2

- ▶ 包装関係10団体が合同新年会を開催、多くの関係者が新年祝う……………P6~7
- ▶ 米国と英国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止…P7
- ▶ 松屋フーズ、「松屋・松のや」×「ちいかわ」のコラボ企画開催……………P7
- ▶ セブン-イレブン「やみつき!黒胡椒からあげ(もも)3個入り」登場……………P7
- ▶ [資料] 畜産物卸売価格の推移……………P8
- ▶ [資料] 食肉加工品生産数量調査報告書(2025年11月分)……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 7日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 7日…P11

新刊 銘柄牛肉ガイドブック'25

多岐にわたる情報を網羅

生産 と畜 流通

380
ブランド
以上

定価 B5判/258頁
2,500円

食肉通信社



11月の牛肉輸出は前年比23・8%増、最大輸出先は米国

財務省貿易統計によると11月の国産牛肉輸出量は1152t(前年同月比23・8%増)と、前年同月を上回り、前月比でも12・1%増加した。輸出先国は合計36カ国・地域で、国別にみると米国が最も多く282t。次いで、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、オランダ、マカオ、カンボジアと続く。

表記以外のその他の国はイタリア、スペイン、イン

ドネシア、英国、ドイツなど。

11月分輸出額は71億4351万円(25・6%増)となり、キロ当たりの輸出単価は6199円。

輸出内訳は冷蔵547t(28・2%増)、冷凍605t(20・0%増)。金額ベースは冷蔵が前年比32・9%増、冷凍が18・0%増。

2025年11月の牛肉輸出状況

単位:キロ、円、%

	香港	米国	カナダ	カンボジア	マカオ	シンガポール	タイ	台湾	その他国	合計
	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		合計
2024年計	1,457,988	2,138,636	95,635	901,317	199,869	545,818	711,601	2,094,296	1,967,917	10,113,077
前年比	95.9%	187.2%	108.9%	79.6%	140.6%	100.3%	150.0%	123.8%	116.8%	120.1%
2024年11月	172,858	151,958	7,838	88,228	22,207	56,168	85,096	173,067	173,693	931,113
12月	152,180	761,518	8,626	184,950	23,980	71,045	60,650	256,098	247,758	1,766,805
2025年1月	88,177	183,936	6,208	63,914	22,094	24,068	65,415	83,921	100,038	637,771
2月	124,384	90,621	8,811	84,846	5,452	43,563	50,149	192,993	148,769	749,588
3月	139,718	117,362	5,027	140,332	14,716	40,858	87,715	221,768	207,745	975,241
4月	149,618	94,974	10,099	117,592	18,538	48,917	71,980	249,251	198,397	959,366
5月	124,882	160,725	9,875	75,995	6,676	41,599	64,255	200,227	167,612	851,846
6月	126,305	208,134	8,152	49,374	13,772	51,971	64,290	222,475	221,462	965,935
7月	176,738	161,585	14,004	91,852	7,280	44,714	83,078	190,320	202,795	972,366
8月	141,502	135,053	4,115	42,608	15,235	40,765	47,251	222,446	213,355	862,330
9月	174,548	128,592	9,561	15,544	8,000	48,003	53,409	251,313	201,553	890,523
10月	154,428	172,126	8,328	44,971	10,963	48,879	81,959	233,748	272,148	1,027,550
11月	155,375	282,282	8,309	32,687	34,930	63,425	93,104	245,928	236,310	1,152,350
前年同月比	89.9%	185.8%	106.0%	37.0%	157.3%	112.9%	109.4%	142.1%	136.1%	123.8%
kg単価(円)	4,911	6,555	7,700	6,855	6,687	6,537	4,950	5,221	7,824	6,199
2025年累計	1,555,675	1,735,390	92,489	759,715	157,656	496,762	762,605	2,314,390	2,170,184	10,044,866
前年同期比	119.1%	126.0%	106.3%	106.1%	89.6%	104.6%	117.2%	125.9%	126.2%	120.4%

【畜産物卸売価格・12月】和牛去勢A4価格は前年同期比42円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた12月の畜産物卸売価格の推移(8面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は146万7600頭(前年同月比0・2%増)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が587円(51円安)。成牛のと畜頭数は9万9410頭(0・9%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2505円(42円高)、交雑牛B3が1662円(18円高)となった。

〔豚〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が6万2322頭(1・4%増)、中旬が6万1278頭(6・

7%減)、下旬が7万1040頭(26・7%増)。東京の価格は上旬が583円(87円安)、中旬が638円(32円安)、下旬が516円(55円安)となった。

〔牛〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が5170頭(24・8%増)、中旬が4530頭(1・0%減)、下旬が2422頭(41・5%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2577円(148円高)、中旬が2584円(53円高)、下旬が2206円(130円安)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1684円(35円高)、中旬が1736円(1円高)、下旬が1516円(5円高)となった。

【加工品仕向肉量・11月】 国産、輸入の合計数量は3万6742 tで5・3%減

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた11月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万6742t(前年同月比5・3%減)となった。このうち国内物が1万224t(5・2%減)となり、輸入物も2万6518t(5・3%減)と減少している。25年累計は37万7758t(前年同期比1・5%減)。このうち国内物は10万5580t(1・1%増)、輸入物は27万2205t(2・5%減)で推移している。

畜種別にみると、豚肉は国内物が6528t(2・3%減)、輸入物が2万4135t(6・5%減)、合計3万663t(5・6%減)で前年を下回った。

また、鶏肉は国内物が3526t(10・4%減)、輸入物は1176t(30・1%増)と増加、合計では4702t(2・8%減)と前年を下回った。成牛肉は1345t(5・6%減)で、国内物が165t(0・5%減)、輸入物が1180t(6・3%減)となった。

シーズンドポークなどを含む豚

肉調製品は9千t(9・2%減)となっている。

2025年11月分の食肉加工品仕向肉量

(単位：トン、%)

区分	仕向肉量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比	
豚肉	国内物	6,528.0	97.7	63,450.0	102.2
	輸入物	24,134.7	93.5	250,697.4	97.5
	合計	30,662.7	94.4	314,147.4	98.4
成牛肉	国内物	164.5	99.5	1,496.8	107.3
	輸入物	1,180.0	93.7	10,587.4	89.8
	合計	1,344.5	94.4	12,084.2	91.6
子牛肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.6	60.0	7.5	84.3
	合計	0.6	60.0	7.5	82.4
馬肉	国内物	5.0	100.0	37.0	97.6
	輸入物	8.2	95.3	68.1	107.8
	合計	13.2	97.1	105.1	104.0
綿羊肉	国内物	0.0	0.0	0.3	0.0
	輸入物	18.5	101.6	198.8	103.2
	合計	18.5	101.6	199.1	103.4
山羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.3	0.0	2.8	87.5
	合計	0.3	0.0	2.8	87.5
鶏肉	国内物	3,526.3	89.6	40,596.1	99.2
	輸入物	1,176.1	130.1	10,642.8	106.7
	合計	4,702.4	97.2	51,238.9	100.6
合計	国内物	10,223.8	94.8	105,580.2	101.1
	輸入物	26,518.4	94.7	272,204.8	97.5
	合計	36,742.2	94.7	377,785.0	98.5
うさぎ肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0
魚肉	国内物	1.4	93.3	13.7	84.6
	輸入物	17.4	100.6	144.1	103.7
	合計	18.8	100.0	157.8	101.7
【参考】					
豚肉調製品	8,999.6	90.8	98,542.0	96.1	
うちシーズンドポーク	8,997.2	90.9	98,388.0	96.0	

注) 1. 仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」

(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

1～11月の輸出額 牛肉は累計627億6800万円で前年同期比15%増—農水省

農水省はこのほど、2025年1～11月の農林水産物・食品の輸出額を公表。11月単月の輸出額は1450億円(前年同月比10・6%増)。これにより、1～11月の輸出額(累計)は1兆4866億円(前年同期比14・2%増)となった。

11月単月の輸出額を品目別にみると、牛肉が72億9900万円(前年同月比24・2%増)、豚肉が3億

5900万円(76・7%増)、鶏肉が3億1800万円(39・5%増)といずれも前年同月を大きく上回った。牛肉は、米国、台湾、オランダ向けの増加がみられた。

累計額は牛肉が627億6800万円(前年同期比15・0%増)、豚肉が26億9400万円(30・3%増)、鶏肉が23億5千万円(4・3%増)となった。

11月の豚肉輸出は前年同月比で85・5%増、輸出額も増

財務省貿易統計による11月の国産豚肉輸出量は198t(前年同月比85・5%増)と大きく増加した。前月比でも57・6%増加した。輸出先国は合計5カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計129t(9・5%増)。次いでシンガポール、タイ、マカオ、カンボジアとなった。輸出額は合計2億8152万円(89・

1%増)となった。キロ当たり輸出単価は1421円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計530t(39・0%増)。輸出先では香港が最も多く358t、次いでベトナムが172tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は70t(32・0%減)となった。キロ当たり輸出単価は351円。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2025年4月	2,929	64,821		21,987	2,024	5,063		96,824
5月	1,032	94,012	372	19,528	4,303	1,137		120,384
6月	4,767	88,199	1,536	31,897	1,536			126,618
7月	926	65,763	922	23,075	1,306	6,483	1,559	100,034
8月	2,662	98,277	193	38,779	4,858	1,919		146,688
9月	2,352	95,398		64,412	1,651	3,848		167,661
10月	799	105,071	225	8,321	11,311			125,727
11月	1,675	127,535		58,124	5,050	5,545		198,103
前年同月比	219.8%	138.3%	0.0%	434.7%	-	2758.7%	0.0%	185.5%
2025年計	21,392	1,006,898	3,248	342,712	42,226	29,964	1,559	1,446,856
前年同期比	147.3%	134.3%	760.7%	109.7%	122.4%	142.2%	55.9%	121.7%

【組織変更・人事異動】 マルイチ産商 (2月1日付、4月1日付)

マルイチ産商は2025年12月26日開催の取締役会で、26年2月1日付および4月1日付の組織変更、役員人事を発表した。

【組織変更】〈2月1日付〉営業部門＝①同社と子会社間や同社の事業部間など、組織を横断する戦略案件の推進力強化を目的に「営業部門統括」を新設し、その管下に「営業部門統括補佐」を新設する②同社のロジスティクス全体を統括し、調達から販売までの流通全体の効率化と最適化を戦略的に推進する責任者として、チーフ・ロジスティクス・オフィサーを新設する。

コーポレート部門＝①連結経営のさらなる推進に向け、コーポレート本部を「コーポレート部門」に格

上げし、ガバナンスおよびリスク管理体制の強化などを目的に「コーポレート部門統括」を新設する②人事戦略、IT戦略、サステナビリティの推進、業務構造改革などの戦略課題への実行力向上を目的に「コーポレート戦略本部」を新設する③経営戦略の策定・実行における迅速な意思決定のサポートと、全社横断的な調整機能と推進力の強化を目的に「経営企画部」を社長直轄組織に変更する④リーガルリスク中心のマネジメントに加え、各事業固有のリスク管理を担うことを目的にリスクマネジメント部を「事業リスク管理部」に改称する。

〈4月1日付〉営業部門＝①伸長が想定される総菜および冷凍食品マーケットに対応する専門組織を組

成し、物流と商品の2軸戦略の具現化を目的に「デリカ冷食事業部」を新設する②「信州事業推進担当」および「信州事業推進本部」を発展的に解消し、ミッションおよび機能を各セクションへ引き継ぐ③水産事業部の甲信・中京エリア内の各拠点のバックオフィス業務を統括し、業務の標準化や効率化の推進を目的に、甲信・中京本部の管下に「甲信・中京業務統括部」を新設する④水産事業部の「企画管理部」を廃止し、事業部の企画管理機能を甲信・中京業務統括部およびコーポレート部門、水産商品本部の総務経理チームへ集約する⑤水産事業部の「商品開発部」を発展的に解消し、商品開発機能をデリカ冷食事業部に移管する。

〔人事異動〕〈2月1日付〉取締役専務執行役員・営業部門統括(信州事業推進担当兼ロジスティクス担当兼水産事業部長兼事業構造改革特命担当)山田真史▷取締役常務執行役員・社長補佐兼コーポレート部門統括兼チーフ・コンプライアンス・オフィサー(社長補佐兼コーポレート本部長兼チーフ・コンプライアンス・オフィサー兼事業構造改革特命担当)仁科圭右▷取締役常務執行役員・(出向)(株)ナガレイ代表取締役社長※内定(畜産事業部長)根橋博志▷取締役執行役員・水産事業部長(水産事業部甲信・中京本部長兼長野支社長)宮崎伸二▷常務執行役員・畜産事業部長(大信畜産工業(株)代表取締役社長※内定)新津均▷執行役員・コーポレート戦略本部長兼人事部長(グループ再編特命担当兼総務部長兼人事部長)梶間勇一郎▷執行役員・(出向)(株)ダイニチ取締役副社長※内定(水産事業部広域開発担当兼東京支社長)木村岳寿▷執行役員・ロジスティクス本部長兼チーフ・ロジスティクス・オフィサー(ロジスティクス本部長)小林敏▷執行役員・水

産事業部甲信・中京本部長兼長野支社長(水産事業部北関東支社長)上埜裕介▷水産商品本部天然魚部長(水産商品本部天然魚部天然魚チームリーダー)杉澤裕▷水産事業部東京支社長代行(水産事業部北関東支社副支社長)岡田昭▷水産事業部北関東支社長代行(水産事業部商品開発部長)塩崎裕基▷畜産事業部畜産商品部長(畜産事業部首都圏広域販売部長)宮坂裕一郎▷畜産事業部首都圏広域販売部長(畜産事業部首都圏広域販売部販売二課長)土屋有生▷(出向)大信畜産工業(株)代表取締役社長※内定(畜産事業部畜産商品部長)久保伸也▷(出向)大信畜産工業(株)常務取締役(コーポレート本部品質管理部長)塩澤泰広▷監査部長(コーポレート本部リスクマネジメント部長兼コンプライアンス推進室長)宮澤光昭▷コーポレート戦略本部総務部長(コーポレート本部総務部長代行)竹松明子▷事業リスク管理部長兼コンプライアンス推進室長(水産事業部企画管理部長)馬場康正▷品質管理部長(コーポレート本部品質管理部品質管理チームリーダー)小山佑輔

〈4月1日付〉執行役員・デリカ冷食事業部長(株)丸水長野県水冷蔵事業部長)平坂寛▷水産事業部甲信・中京本部甲信・中京業務統括部甲信・中京コントローラー(水産事業部松本支社総務経理課長)遠藤真澄▷デリカ冷食事業部デリカ部長(水産事業部フードサービス商品部長)小林資功▷デリカ冷食事業部冷食部長(株)丸水長野県水長野冷食グループ長)近藤俊之▷顧問{営業部門統括付}(株)丸水長野県水代表取締役社長)小林徳幸▷顧問{営業部門統括付}(株)丸水長野県水取締役管理本部長)岡島和宏

マルイチ産商が完全子会社の丸水長野県水を吸収合併

マルイチ産商は2025年12月26日開催の取締役会で、26年4月1日を効力発生日として、同社連結子会社の(株)丸水長野県水を吸収合併することを決議し、吸収合併契約を締結した。

同社は、23年5月26日付で開示した「グループ内組織再編(完全子会社の吸収合併および完全子会社間の合併)に関するお知らせ」以降、グループ全体

での経営資源の最適化、経営効率の向上、事業競争力の強化を推進してきた。具体的には、24年4月にグループ内の業務用部門の連結子会社(株)ナガレイがマルゼンフーズ(株)を吸収合併)および物流部門の連結子会社(マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)が(株)丸水運送センターを吸収合併)をそれぞれ組織再編した。

[鶏肉調製品輸入 11月] 計4万7298 tで2・4%増

11月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計4万7298t(前年同月比2・4%増)と前年を上回った。前月からは1666t減少した。国別ではタイが2万6398t

(2・2%減)と減少。中国は1万9749t(7・0%増)と増加した。その他、韓国が132t(11・4%増)、ブラジルが60t(前年同月の輸入なし)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、()内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2024年11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (79.5)	22,713 (104.6)	19 (24.7)	27 (29.1)	- (-)	- (-)	33,788 (94.7)
3月	16,674 (126.1)	25,989 (106.2)	99 (521.2)	32 (56.4)	14 (100.0)	- (-)	43,537 (113.6)
4月	16,940 (100.9)	25,048 (92.5)	19 (51.2)	38 (25.1)	- (-)	- (-)	43,306 (97.0)
5月	15,343 (109.3)	26,836 (102.8)	23 (59.8)	43 (65.9)	- (-)	- (-)	43,252 (106.1)
6月	16,990 (109.3)	26,095 (98.6)	18 (96.3)	27 (118.1)	13 (90.0)	- (-)	44,048 (103.4)
7月	20,587 (108.2)	28,425 (102.2)	16 (17.0)	45 (135.6)	14 (-)	- (-)	50,027 (105.4)
8月	15,023 (103.9)	25,506 (103.5)	19 (50.0)	47 (78.5)	- (-)	- (-)	41,460 (104.2)
9月	17,293 (103.0)	26,765 (118.9)	3 (5.4)	81 (124.5)	14 (100.0)	- (-)	44,986 (112.8)
10月	18,291 (107.1)	29,849 (99.7)	21 (27.5)	60 (44.3)	- (-)	- (-)	48,964 (102.2)
11月	19,749 (107.0)	26,398 (97.8)	60 (-)	132 (111.4)	14 (-)	- (-)	47,298 (102.4)

包装関係 10 団体が合同新年会を開催、多くの関係者が新年祝う

包装関係の10団体(公益社日本包装技術協会、一般社日本食品包装協会、軟包装衛生協議会、日本MH協会、東日本梱包工業組合、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、日本包装専士会、技術士包装物流会、日本包装学会)の関係者が一堂に会して賀詞を交歓し、懇親を深める2026年包装界合同新年会が7日、東京都千代田区の東京會館で開催された。会場には会員企業をはじめ、多くの包装業界関係者が参加した。

主催者を代表してあいさつした日本包装技術協会の大塚一男会長(東洋製罐グループホールディングス(株)会長=写真)は昨年を振り返り、「サステナビリティへの関心が世界的に高まる中、包装業界にも環境対応や資源環境、機能性向上がこれまで以上に求められた1年だった。欧州のPPWR改正や米国各州での規制強化など、国際的な制度の変化は急速に進んでおり、紙素材への転換など、各地で大きな潮流が生まれていることを改めて実感している」と指摘。「包装は、製品の品質を保証することや、荷扱いのしやすさといった従来求められてきた機能を超えて、ブ

ランドコミュニケーションとしての役割や、さらに国際市場へのアクセスを可能にするなど、企業の責任と価値を体現する“ビジネスパスポート”として、今、非常に重要な



役割を担っている。生活者とのインターフェースとしての機能強化を進めながら、グローバルスタンダードに基づいた包装設計と運用体制の構築を加速させていくことが、私ども包装に携わる者の責任であり、使命であると考えている」と述べた。さらに今年10月14～16日に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK2026」について、「今回は『包みの技術で世界に優しさを』をメインテーマに、世界に誇る日本の包装イノベーションを幅広く発信し、国際的な潮流に応える最先端の技術を示す場としていきたい」と強調した。

続いて来賓からは経産省製造産業局素材産業課の森下龍樹課長補佐が祝辞を述べ、さらに日本包装

技術協会の猪野薫副会長(DIC(株)会長)の音頭で乾杯となり、歓談となった。

米国と英国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所は、英国2州と米国4州の家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、次の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等の輸入を一時停止したと発表した。

[英国] ウォリックシャー州(輸入停止措置日昨年

12月30日)、ウェスト・ミッドランズ州(同)

[米国] ワイオミング州カーボン郡(11日)、カンザス州ジャクソン郡およびワボンシー郡(25日)、メリーランド州クイーンアンズ郡(31日)、バージニア州アイルオブホワイト郡(1月6日)

松屋フーズ、「松屋・松のや」×「ちいかわ」のコラボ企画開催

松屋フーズ(東京都武蔵野市、瓦葺一利社長)は6日から、牛めし・カレー・定食・その他丼の「松屋」、トンカツ店の「松のや」において、「ちいかわ」とのコラボメニュー第1弾として国産黒毛和牛を使用した「松屋 ちいかわのすき焼き鍋膳」(税込み1580円)を販売開始した。

コラボメニュー1品の注文につき、「松屋」×「ちいかわ」コラボ限定「オリジナル食券キーホルダー」(デザインは全6種類)を1個、ランダムでプレゼント。キャンペーン概要は以下の通り。

開催期間=1月6日~3月31日、対象店舗=全国



の松屋、松のや(一部店舗は対象外となる。販売店舗は下記キャンペーンサイトを確認)、キャンペーンサイト=<https://www.matsuyafoods.co.jp/chiikawa/2026wtm/>

セブン-イレブン「やみつき!黒胡椒からあげ(もも)3個入り」登場

(株)セブン-イレブン・ジャパン(東京都千代田区、阿久津知洋社長)は、食べ応え抜群の大人向け新商品「やみつき!黒胡椒からあげ(もも)3個入り」(税込み356円)を9日から、全国の同店舗で順次発売する。

25年4月の発売後、20日間で累計販売数が2千万個を突破した人気商品「若鶏のからあげ」シリーズから新しい味が登場。黒こしょうが練り込まれた薄皮の衣は、食べた瞬間に口の中でスパイスの刺激がガツンと広がり、寒さが厳しい日に体の芯からぽかぽか

と温まるような大人向けの絶品から揚げ。満足感があり、パンチが効いた同商品は、夕食のメインディッシュや仕事終わりのがっつり系ご褒美として堪能できる。



[資料] 畜産物卸売価格の推移

(令和 7年 12月)
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上		牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵 東京	鶏肉 東京	
	東京		東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年 11月	571	7,238	2,349	1,573	1,119	1,409,881	109,509	275	669	393
6年 12月	638	7,155	2,463	1,644	1,217	1,464,169	100,316	281	707	406
上旬	670	2,232	2,439	1,649	1,096	61,488	4,143	280	694	402
中旬	670	2,626	2,531	1,735	1,145	65,700	4,575	280	706	405
下旬	571	2,297	2,336	1,511	1,276	56,057	1,712	283	720	409
7年 11月	588	6,400	2,449	1,614	1,200	1,371,437	102,476	340	744	560
7年 12月	587	7,050	2,505	1,662	1,194	1,467,600	99,410	345	784	549
上旬	583	2,658	2,577	1,684	1,255	62,322	5,170	345	766	549
中旬	638	2,629	2,584	1,736	-	61,278	4,530	345	781	547
下旬	516	1,763	2,206	1,516	1,173	71,040	2,422	345	814	554
1日(月)	584	406	2,536	1,675	-	70,000	5,710	345	761	550
2日(火)	605	362	2,546	1,671	-	69,600	5,700	345	764	550
3日(水)	604	261	2,549	1,661	-	70,100	5,540	345	-	-
4日(木)	585	359	2,568	1,670	-	70,300	5,290	345	757	546
5日(金)	557	403	2,565	1,670	1,255	67,700	5,510	345	762	550
6日(土)	-	-	-	-	-	3,100	1,900	-	764	549
7日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8日(月)	558	345	2,578	1,697	-	70,100	5,790	345	771	542
9日(火)	581	310	2,630	1,710	-	67,800	5,570	345	780	553
10日(水)	606	212	2,636	1,736	-	72,200	5,520	345	-	-
11日(木)	607	373	2,633	1,736	-	71,400	5,360	345	769	553
12日(金)	639	328	2,584	1,700	-	71,200	5,500	345	768	545
13日(土)	-	-	2,547	1,691	-	14,400	2,580	-	784	542
14日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15日(月)	638	303	2,607	1,684	-	71,900	5,410	345	782	539
16日(火)	666	387	2,579	1,777	-	72,500	5,400	345	781	546
17日(水)	699	236	2,585	1,799	-	73,200	5,350	345	-	-
18日(木)	641	410	2,614	1,756	-	71,400	4,860	345	787	551
19日(金)	641	373	2,522	1,712	-	73,000	4,810	345	786	546
20日(土)	569	219	-	-	-	32,500	1,500	-	794	552
21日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22日(月)	551	300	2,283	1,569	-	75,800	4,360	345	803	547
23日(火)	565	344	2,302	1,549	-	75,600	3,880	345	814	555
24日(水)	550	286	2,185	1,557	-	75,600	2,380	345	-	-
25日(木)	475	442	2,116	1,439	1,173	73,800	1,020	345	811	554
26日(金)	469	391	2,141	1,470	-	54,400	470	345	815	550
27日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	825	564
28日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29日(月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30日(火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31日(水)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)
 注4) 「-」は取引無し
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

【資料】食肉加工品生産数量調査報告書(2025年11月分)

(単位:トン、%)

	銘柄	生産数量	前年同月比	2025年累計	前年同期比
ハム類	ロースハム	5,525.8	93.4	58,206.9	92.8
	ボンレスハム	569.7	88.2	5,266.0	99.6
	骨付きハム	15.0	97.4	73.4	88.1
	ラックスハム	873.6	101.4	8,200.7	98.1
	ベリーハム	5.4	83.1	29.4	93.6
	ショルダーハム	180.1	85.2	1,264.8	90.6
	その他ハム	802.4	84.2	9,281.0	92.9
	小計	7,972.0	92.6	82,322.2	93.7
ベーコン類	ベーコン	6,156.9	90.6	68,116.6	90.9
	ロースベーコン	1.3	59.1	10.7	118.9
	ショルダーベーコン	423.4	103.7	4,384.0	101.2
	その他ベーコン	188.5	95.7	2,007.2	103.0
	小計	6,770.1	91.5	74,518.5	91.8
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	19,203.7	95.7	204,204.1	99.2
	フランクフルトソーセージ	2,235.5	89.5	27,589.6	93.4
	リオナソーセージ	427.7	101.4	4,495.8	97.8
	ポロニアソーセージ	1,538.7	102.3	12,597.0	94.5
	ドライソーセージ	595.2	94.4	5,791.8	94.9
	セミドライソーセージ	31.9	72.0	281.8	96.4
	レバーソーセージ	3.6	69.2	33.5	87.9
	レバーペースト	0.8	47.1	10.1	80.2
	加圧加熱ソーセージ	0.6	54.5	16.7	36.5
	無塩漬ソーセージ	788.9	92.1	8,567.5	94.8
	混合ソーセージ	1.2	300.0	7.3	143.1
	加圧加熱混合ソーセージ	1.3	325.0	8.7	158.2
	その他ソーセージ	379.5	80.0	4,249.4	89.8
	小計	25,208.6	95.1	267,853.3	97.9
プレスハム類	プレスハム	388.4	84.1	3,303.9	47.1
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,282.7	107.1	15,355.9	135.1
	小計	1,671.1	100.7	18,659.8	101.5
合計		41,621.8	94.2	443,353.8	96.2
	ポークソーセージ	15,190.2	98.7	159,306.7	102.1
	サラミソーセージ	105.0	106.4	916.5	99.0
	ハンバーグ類	1,737.0	88.0	19,269.6	92.4
	焼き豚	2,064.7	95.8	19,302.2	103.7
	その他	4,007.2	104.0	42,189.7	97.6

注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。

2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。

3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料: 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」

(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 1月7日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,343	2,594	2,385	-	-	
		安値	2,163	2,119	1,944	-	-	
		平均	2,555	2,296	2,185	1,903	-	
	128頭	頭数	90	32	5	1	-	
		雌 B	高値	2,772	-	-	-	-
			安値	2,205	-	-	-	-
	平均		2,500	-	-	-	-	
	2頭	頭数	2	-	-	-	-	
		去 A	高値	3,131	2,365	2,267	-	-
			安値	2,217	2,052	1,944	-	-
	平均		2,455	2,240	2,109	1,901	-	
	134頭	頭数	84	33	16	1	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-		
交雑牛	雌 B	平均	-	1,626	1,592	1,453	-	
		頭数	-	6	12	5	-	
	雌 C	平均	-	1,567	1,582	-	-	
		頭数	-	1	1	-	-	
	去 B	平均	1,943	1,734	1,650	1,498	-	
		頭数	1	8	4	4	-	
去 C	平均	-	1,610	1,563	1,503	-		
頭数	-	1	3	2	-			

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	402 398	1,029 970	- 224.5	(競り)	(相対)	67

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,214	2,031	1,729	1,599	-
	B	-	-	1,702	1,470	1,333
和 去	A	2,401	2,182	1,999	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	966
	C	-	-	-	1,034	946
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,987	1,687	1,623	1,386	1,036
	C	-	-	1,422	1,441	1,027
交 去	B	-	1,770	1,640	1,499	-
	C	-	-	1,422	1,286	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	645	757	672	605	518
	安値	621	572	518	473	329
	平均	633	608	577	536	463
	頭数	(2)	(247)	(331)	(275)	(115)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 1月7日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,457	2,255	-	-	-
(頭数)	(11)	(3)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,481	2,186	1,891	-	-
(頭数)	(19)	(11)	(2)	(-)	(-)
B	2,160	1,999	-	-	-
(頭数)	(1)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,695	1,596	-	-
C	-	-	1,484	-	-
交雑去 B	1,898	1,797	1,596	1,513	-
C	-	1,644	1,522	-	-
豚	-	509	471	432	410

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	1月7日	1月6日	(1月累計)
豚	71,600	72,500	218,100
成牛計	4,370	4,870	13,670
和牛雌	1,030	1,250	3,180
和牛去勢	1,420	1,260	3,950
乳牛雌	570	910	1,820
乳牛去勢	460	420	1,460
交雑雌	430	450	1,470
交雑去	460	580	1,790

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 1月7日

東京	1,537 円	(前日 1,589 円)
大阪	1,571 円	(前日 1,658 円)

[豚・全農建値] 1月7日

上	中	取引頭数	市況
577 円	555 円	1,309 頭	強もちあい

と畜 売買	牛 96 頭	豚 206 頭	牛概況	弱含み
	牛 97 頭	豚 199 頭	豚概況	反落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 1月7日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	607 (603)	545 (569)	604	95	続伸
栃木 [地]	599 (-)	579 (-)	1,706	58	上伸
茨城 [地]	597 (563)	582 (560)	1,491	694	上伸
群馬 [地]	602 (576)	518 (466)	2,698	461	続伸
さいたま [中]	614 (604)	606 (599)	243	253	続伸
東京 [中]	608 (608)	577 (589)	1,029	970	もちあい
横浜 [中]	- (-)	- (-)	-	-	休市
山梨 [地]	606 (656)	591 (641)	170	133	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	609 (601)	603 (584)	995	173	続伸
京都 [中]	- (578)	- (556)	-	-	休市
大阪 [中]	509 (610)	471 (563)	206	135	反落
神戸 [中]	- (704)	- (667)	135	-	上場なし
岡山 [地]	549 (548)	550 (541)	359	385	もちあい
広島 [中]	600 (552)	561 (502)	240	63	急騰
福岡 [中]	605 (594)	575 (562)	525	191	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月31日～1月6日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 334,519 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,259	1,350	1,458	1,338	18,672
うで	632	734	799	719	23,951
ロース	1,026	1,111	1,196	1,105	58,444
ばら	1,091	1,296	1,458	1,290	46,849
もも	702	762	805	759	42,742
ヒレ	-	-	-	-	936
セット	810	943	1,105	950	142,925

◇近畿圏 総重量 109,129 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,318	1,318	1,405	1,341	13,212
うで	580	626	702	638	17,939
ロース	1,069	1,177	1,305	1,178	15,879
ばら	1,307	1,350	1,512	1,391	26,722
もも	626	680	702	672	27,162
ヒレ	1,188	1,323	1,323	1,286	2,642
セット	888	920	956	922	5,573

[食鳥正肉日経相場] 1月6日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	733	822	993	208
ムネ	469	548	704	182

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	722	814	1,050	3
ムネ	471	532	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 1月6日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	6日分は9日掲載				
安値					
平均					

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します